**タイトル**（和文４０字以内、副題含む場合は６０字以内。）

英文タイトルを併記ください。

執筆者氏名（ローマ字を併記して下さい）

**抄 録** ＊＊＊（抄録は400字程度を目安にして下さい）・（※全文章の記載で句読点は、コンマ（，）又はテン（、）そしてマル（。）を使用して下さい。２桁以上の欧文、数字は１マスに２字の割合（半角）で記載して下さい。）＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

**目　次**

※目次は章と節まで記入して下さい。下記目次は参考です。必要に応じて追記等して下さい。

※「はじめに」及び「おわりに」を必ず記入して下さい。

１．はじめに（章）

２．＊＊＊＊＊＊＊

２．１　＊＊＊＊＊（節）

３．＊＊＊＊＊＊＊

「はじめに」及び

「おわりに」を

必ず記入して下さい。

４．＊＊＊＊＊＊＊

５．おわりに

1. **はじめに**

※１行空けます。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊[[1]](#endnote-1)1）＊＊＊＊＊＊＊＊＊※１行空けます。

1. **＊＊＊＊＊＊＊**

※１行空けます。

**２．１　＊＊＊＊＊**

※１行空けます。

**（１）＊＊＊＊＊**

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊１）＊＊＊＊＊

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊※１行空けます。

**（２）＊＊＊＊＊**

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊※図または表を挿入する場合は１行空けます。

図または表

※図の下に「図１　○○」、表の上に「表１　○○」のように番号を付し、図表タイトルを必ず入れて下さい。

※表は、本文と同じように、下線、太字、斜体などの装飾を用いないで下さい。

※印刷したときに文字が小さくならないようにして下さい。

※カラーでなく白黒でお願いします。

※図または表を挿入する場合は１行空けます。

1. **＊＊＊＊＊＊＊**

※１行空けます。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

※１行空けます。

1. **＊＊＊＊＊＊＊**

※１行空けます。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊※１行空けます。

「はじめに」及び

「おわりに」を

必ず記入して下さい。

1. **おわりに**

※１行空けます。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

※１行空けます。

**注 記**

＊＊＊＊＊＊＊

※注記ナンバー表示は、“１）”表記でお願いします。

同一の引用文献を繰り返して引用する場合、本文中では連番で付番した上で、注記には初出の数字を用いて、例えば初出の数字が１）であれば、“前掲注１）”と記載して下さい。

　但し、同一の引用文献を何度も繰り返して引用する場合に限り、読者の読み易さに配慮し、本文中に同一番号を使用いただいて構いません。

表記の仕方

雑誌の場合（執筆者名、雑誌名、巻、号、ページ、発行年）

例：

宮滝恒雄,知財管理, Vol.39, No.3, p.273 (1987)

三好, 小池, パテント, Vol.42, No.11, pp.53～57 (1989)

Bozicevic, Journal of the Patent and Trademark Office Society, Vol.69, No.8, pp.415～426 (1987)

単行本の場合（執筆者名、書名、ページ、発行年、出版社名）

例：

吉藤幸溯, 特許法概説（第9版）, p.118 (1987)有斐閣

Clifford Lees, Protection, pp.295～305 (1965), London Business Publication Ltd.

Webページ、Webサイトの場合（執筆者名、Webページの名称、URL、参照した日付）

Webページ等は読者がアクセスしようとしても削除されていたり、他のURLに変更されていたり、実質的に参照できない場合が多いためできるだけ引用を避け、これに替わる刊行物が存在する場合はそれを引用して下さい。刊行物等が存在せず、Webページ等をやむなく引用せざるを得ない場合は以下のように記載して下さい。

例：

日本知的財産協会、CSDBの外部公開に関する要望

http://www.jipa.or.jp/kain/index.htm

（参照日：2003年8月15日）

複数のURLの参照日を一括して注記の末尾に記入する場合、例：

（URL参照日は全て2020年12月20日）

**参考文献**

・＊＊＊＊＊＊＊

※参考文献表示は、中点“・”表記でお願いします。表記の仕方は、注記に同じです。

**執筆者の所属機関名、職名**

例）・＊＊＊＊＊特許事務所　弁理士

　 ・＊＊委員会第＊小委員会　　等

その他注意事項

※２段組みにまたがる図表等についての文章の記載について

・図表等については、上部又は下部へ表記するか、若しくは別頁を設定する等配慮をお願いします。

・文章途中で２段組みにまたがる図表等を配置する影響で文章の流れを変えることは避けて下さい。



1. [↑](#endnote-ref-1)